

連合愛知安全衛生センターだより

愛知県勤労者安全衛生センター 〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザれあろ 3F
TEL(052) 684-0003 FAX(052) 684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <http://www.rengo-aichi.or.jp>

11月は過労死防止啓発月間です

過労死等防止対策推進法では、国民の間に広く過労死等を防止することの重要性について自覚を促し、これに対する関心と理解を深めるため、毎年11月を「過労死等防止啓発月間」と定めています。国民一人ひとりが自身にも関わることで過労死等とその防止に対する理解を深めて「過労死ゼロ」の社会を実現しましょう。

～過労死ゼロをめざして～

連合では、過労死等防止を目的とした「セルフチェック」を展開しています。



11月は過労死等防止啓発月間

過労死等

休めてますか、ここからからだ

ゼロに

不安を抱えていませんか

向けて

こんなことに心当たりはありませんか？

- 長時間労働が続いている
- 周囲に相談相手がない
- 遅刻や早退をしてしまうことが増えた
- 急に気分が沈んだりする

これらは、ストレスの原因やメンタル不調時に現れやすいサインの例です。

厚生労働省
こころの耳 相談窓口
<https://kokoro.mhlw.go.jp/agency/>

連合
なんでも労働相談ホットライン
0120-154-052
フリーダイヤル いこうよ れんごうに



QRコードを読み取り、セルフチェックを行いましょう

【自殺者数が増加しています】

全国的に7月以降自殺者が増加しており、愛知県の8月の自殺者数は全国の都道府県で2番目に多い119人に上りました。愛知県は、自殺の背景には、失業・倒産・多重債務・過労・いじめや孤立などの社会的要因があり、また、今般の新型コロナウイルス感染症の影響などにより、自殺のリスクが高まることもあり得る状況と認識しています。愛知県大村秀章知事は9月14日、県民に向けて緊急メッセージを出しました。

大村知事緊急メッセージ → <https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/346160.pdf>

なお、9月の自殺者数も109名と高い値で推移しています。

2020年9月度 愛知県の死亡災害発生状況 <10月5日現在速報値>

34人（3人）

対前年同期32人（7人） ※（ ）内は交通事故による死亡者の内数

業種・規模	被災者	事故の型	災害状況
清掃・と蓄業 10～29名	現場作業員 30代 20年	はさまれ・ 巻き込まれ	産廃処理工場において、圧碎機を用いて鉄筋コンクリート片を破砕していたところ、はさみ状アタッチメントに鉄筋が引っ掛かった。被災者が開いた状態のはさみ状アタッチメントの下で、はさみの間をのぞきこむような状態で鉄筋を外していたところ、アタッチメントが作動し、胸部をはさまれて死亡したものの。
道路貨物運送業 9名以下	運転者 40代 —	墜落・転落	荷が積み込まれていたトラック荷台から何らかのはずみで転落し頭部を負傷したが、保護帽を着用しておらず、約1週間後に死亡したものの。
鉄鋼業 100～299名	作業員 30代 2年	はさまれ・ 巻き込まれ	搬送設備のホイストに取り付けられたセンサーが異常を検知し停止したため、動力を遮断せず、柵から身を乗り出して異常処理を行った際、ホイストが動き出し、柵との間に身体がはさまれて死亡したものの。
化学工業 300～499名	班長40代 係長50代 —	火災	食料品包装用フィルムの製造ラインから出火し、消火活動を行うも火の回りが早く、逃げ遅れた労働者2名がCO中毒で死亡、1名が喉に熱傷を負ったものの。
建築工事業 (木建以外) 9名以下	配管工 60代 48年	墜落・転落	建屋の屋根の雨漏り補修工事の際、雨どいの取付作業をベランダの腰壁の上に立ち行っていたところ、墜落防止装置を講じておらず、雨どいごと約5m下へ墜落し、死亡したものの。

令和2年度健康づくり指導者セミナーに参加

9月10日（木）、9月17日（木）の2日間、連合愛知安全衛生センターと愛知県経営者協会が共同企画し、愛知県健康づくり振興財団主催する「健康づくり指導者セミナー」が開催され、連合愛知からは8名の組合員が参加しました。「事業場における労働者の健康と元気な社会をめざして」をテーマに、健康経営・生活習慣病予防・コロナ禍におけるこころのケア等について、講義と事例紹介がありました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、web会議システム（webex）による開催となり、参加者はワークシートを活用しながら各職場の取り組みや課題について情報交換を行いました。



安全衛生センター第4回理事会を開催

9月30日（水）に開催した理事会の主な内容は次のとおりです。7～9月の活動報告の後、確認事項①理事の交代②当面の日程について確認しました。議事については①第32回総会について（2020年度活動報告、2020年度会計決算報告・会計監査報告、2021年度活動計画（案）および2021年度予算（案））②2021年度暫定予算③2021年度「第1回理事会」の開催について提案し、すべて承認されました。

◇理事の交代

構成組織	新理事	旧理事
全国ガス	正村 佳奈	遠藤 登
自動車総連	繁野 慶一	後藤 航
国 税	菅谷 哲志	馬崎 雄一
セラミックス連合	鬼頭 寿久	中川 直樹



～安全衛生担当者研修会を開催～

9月30日（水）アピタン大ホールにおいて、「安全衛生担当者研修会」を開催し、構成組織・加盟組合・安全衛生センター役員ら35名が参加しました。本研修会は、例年全国安全週間および全国労働衛生週間の準備月間に対応し、5月と9月の2回開催していますが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回のみの開催となりました。

「安全衛生委員会の充実にむけて」をテーマとし、①事例報告②グループディスカッションの二部構成で開催しました。

冒頭、近藤理事長からは、本研修の主旨説明の後、「今回の研修で何か一つでも持ち帰り、皆さんの職場の安全衛生委員会がさらに充実することを期待したい」との挨拶をいただきました。

事例報告では、安全衛生センター副理事長であり、電機連合愛知地方協議会議長である後藤高博氏より、①三菱電機の概要②不休災害を機に取り組んだ事例③安全衛生委員会の概要④安全衛生委員会に臨む姿勢について報告をいただきました。



参加者からは、「他社の取り組み事例の報告は大変参考になった」「安全衛生委員会において、労組の立場や役割を広げていく必要性を改めて実感し、とても参考になりました」「安全カレンダーの作成、webの活用など、自労組でも取り入れたい」等のコメントがありました。

また、グループディスカッションでは、①感染症拡大防止に向けた取り組み②メンタルヘルス対策③新入社員（未経験・若年層含む）に対する安全意識向上対策の3つのテーマについて、6つのグループに分かれ、自社での取り組み事例や課題について意見交換を行いました。



どのテーマも関心が高く、参加者からは、「テーマ別のグループワークで参加しやすかった」「業種が違って共通する課題もあり、また独自に取り組んでいる対策についても大変参考になった」という意見が多く、好評のうちに終了いたしました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

※グループディスカッションの詳細内容は、次号にて紹介いたします。